

IDEインターフェース付き
拡張スロット内蔵型
フラッシュディスクドライブ

LISC-128

ユーザーズ ガイド

User's Guide

ランド周辺機器装置



◆ 御 注 意 ◆

本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。

1. 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
2. 本品は、十分な注意のもとに、放出電波が最小になるよう設計してありますが、電波や電磁波に敏感な機器（例えば、テレビ、ラジオ、マイコンを使った機器など）が近くにあると、ノイズ、誤動作等の影響を与えることがあります。
3. 本書は内容について万全を期して作成致しましたが、万一御不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、弊社または御購入になられた販売店までご連絡下さい。
4. 文中のイラストは、実際の製品と異なる場合があります。
5. 記載事項には、各社の登録商標も含まれております。
6. 本製品の使用・不使用により、万一損害が生じた場合のいかなる請求に関しても、一切その責を負いかねます。

この度は、IDE インターフェイスボード付きフラッシュディスクドライブをお買い上げ頂き、誠に有り難うございます。

本製品は、IDE インターフェイスを持たない PC-98・FC-98・EPSON PC シリーズの各機種に置いても、フラッシュディスクドライブを使用できるようにした製品です。

商品が届きましたら、まずお届けしている商品の内容を『パッケージ内容』にてご確認ください。

その上で本システムを最大限にご活用いただけるよう、本書ユーザーズガイドをご利用ください。

LAND *computer*

必ずお読み下さい



製品を安全にご使用いただくために

ここでは、製品を安全に正しくご使用いただき、使用者や他の人々への危害及び財産の損害を未然に防ぐための説明を記載しています。製品使用者は必ず本書を読んだ後、内容をよく理解した上で製品を正しく使用してください。

本書は読み終わったあとも、必ずいつでも見られる場所に保管しておいて下さい。

表示について

文中の絵表示には次の様な意味があります。

| | |
|---|--|
|  警告 | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。 |
|  注意 | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると人が重傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみ発生が想定される内容を示しています。 |

表示の例

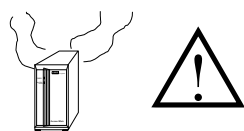


△記号は注意・警告を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意の内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

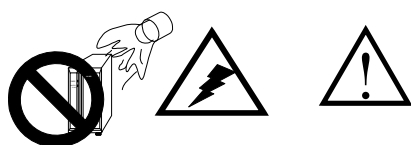


⊘記号は禁止の行為を告げるものです。
図の中や近辺に具体的な禁止の内容（左図の場合は分解禁止）

警告



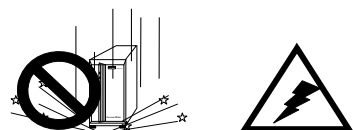
万一、本体から異音・異臭・煙がでているなどの状態がある場合、すぐに本体のスイッチをきり、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。この様な状態で使用すると、火災・感電の原因となります。煙がでなくなるのを確認し、当社または販売店に連絡し、修理をご依頼ください。お客様による修理は危険を伴いますので絶対におやめください。



万一内部に水などが入った場合は、まず本体電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて当社または販売店にご連絡ください。そのまま使用しますと、火災・感電の原因となります。



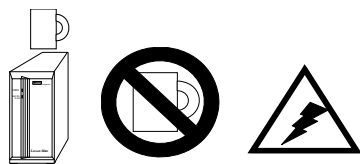
万一異物が内部に入った場合は、まず本体電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて当社または販売店に連絡してください。そのまま使用しますと、火災・感電の原因となります。



本体を落とした場合や破損した場合は、スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜いて当社または販売店にご連絡ください。そのまま使用しますと火災、感電の原因となります。



本体の分解・改造・お客様での修理は絶対におやめください。感電の原因となります。整備・点検は当社または販売店にご依頼ください。

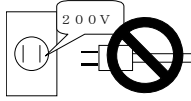


本体の上に花瓶・コップ・薬品や水の入った容器または小さな金属物置かないでください。容器の中の物がこぼれたり、機器のなかに入ると火災、感電の原因となります。

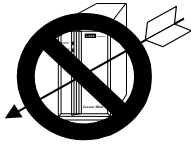


ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

警告



範囲外の電源電圧（交流 100V±10%の範囲外）で使用しないでください。火災、感電の原因となります。



本体の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、押し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災、感電の原因となります。



電源コードの上に重い物をのせたり、コードがディスプレイ等の下敷きにならないようお気をつけください。コードに傷がつき火災、感電の原因となります。



電源コードが傷んだら当社または販売店にご連絡ください。そのまま使用しますと、火災、感電の原因となります。



電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたりねじったり引っ張ったり加熱したりしないでください。コードが破損して火災、感電の原因となります。



水気の多い場所では使用しないでください。火災、感電の原因となります。



雷が鳴り出したら、電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。



注意



湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。



湯煙や、湯気が当たるような場所（加湿器のそばなど）に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。



本体の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。



本体の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。



電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶け、火災、感電の原因となることがあります。



電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。必ず電源プラグをもって抜いてください。










濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、接続ケーブルなどを外した上でおこなってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。



注意

| | |
|---|---|
|    | <p>お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。感電の原因となることがあります。</p> |
|   | <p>長期間を使用しない場合は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。</p> |
|   | <p>1年に一度くらいは内部の掃除を当社または販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないで使っていると火災、故障の原因となることがあります。なお、掃除費用については当社または販売店などにご相談ください。</p> |

製品を安全にご使用いただくために

目 次

| | | |
|-----|-----------------------------------|----|
| 1 | 製品概要..... | 1 |
| 1-1 | 製品の特徴..... | 1 |
| 1-2 | パッケージ内容..... | 1 |
| 1-3 | 対応機種..... | 1 |
| 1-4 | 仕様..... | 1 |
| 2 | 各部名称..... | 3 |
| 2-1 | 各部名称..... | 3 |
| 3 | ディップスイッチの設定..... | 5 |
| 3-1 | ディップスイッチ図..... | 5 |
| 3-2 | 割り込み番号の設定..... | 5 |
| 3-3 | 使用パソコンの機種設定..... | 6 |
| 3-4 | ROM の設定..... | 6 |
| 4 | 取り付け方法..... | 7 |
| 4-1 | インターフェースボードの取り付け..... | 7 |
| 4-2 | IDE ハードディスクドライブの接続..... | 7 |
| 4-3 | フォーマットについて..... | 8 |
| 5 | 品製品使用時の注意点..... | 9 |
| 5-1 | 他のボードとの競合について..... | 9 |
| 5-2 | ハイレゾモード使用時について..... | 9 |
| 5-3 | Windows3.1 のエンハンスドモードの設定について..... | 9 |
| 5-4 | PC-9801RX シリーズを使用する場合..... | 9 |
| 5-5 | 40Pin (オス) コネクタ ピンチャート..... | 10 |

1 製品概要

1-1 製品の特徴

- 拡張スロットに取り付けることにより、IDEインターフェースを持たないPC-98・FC-98・EPSON PCシリーズの各機種に置いて、フラッシュディスクドライブをコンピュータ内に内蔵できます。
- フラッシュディスクを採用していますので、従来のハードディスクドライブよりも速度と信頼性が向上しています。
- 純正品のハードディスクドライブと、ソフト上位互換です。

1-2 パッケージ内容

| 型式 | 数量 | 内容 |
|----------|----|----------------------------|
| LISC-128 | 1 | IDE インターフェースボード付きフラッシュディスク |
| ———— | 1 | 保証書 |
| ———— | 1 | ユーザーズガイド (本書) |

1-3 対応機種

| | | |
|-----|---------|--|
| NEC | PC-9801 | E,F,M,U,VF,VM,UV,VX,UX,LV,CV,RX※,RS,RA,LS,ES,EX,LX,T,DX,DS,DA,UF,UR,FA,FS,FX,BA,BX,BA2,BS2,BX3,BA3,BX4 |
| | PC-9821 | Ap,As,Ae,Af,Ap2,As2,Ap3,As3,Bp,Bs,Be,Bf,Ts,Cs2,Ce2,Xa7,Xa9,Xa10,Xa12,Xe10,Xt13 |
| | PC-98 | DO,DO+,XA,XL,XL2,RL,GS (NEC DOS3.3 以上) |
| | PC-H98 | 全モデル (ハイレゾモードでは使用できません) |

※ PC-9801RXの場合は、クロック数を10MHzに変更することにより使用可能になります。

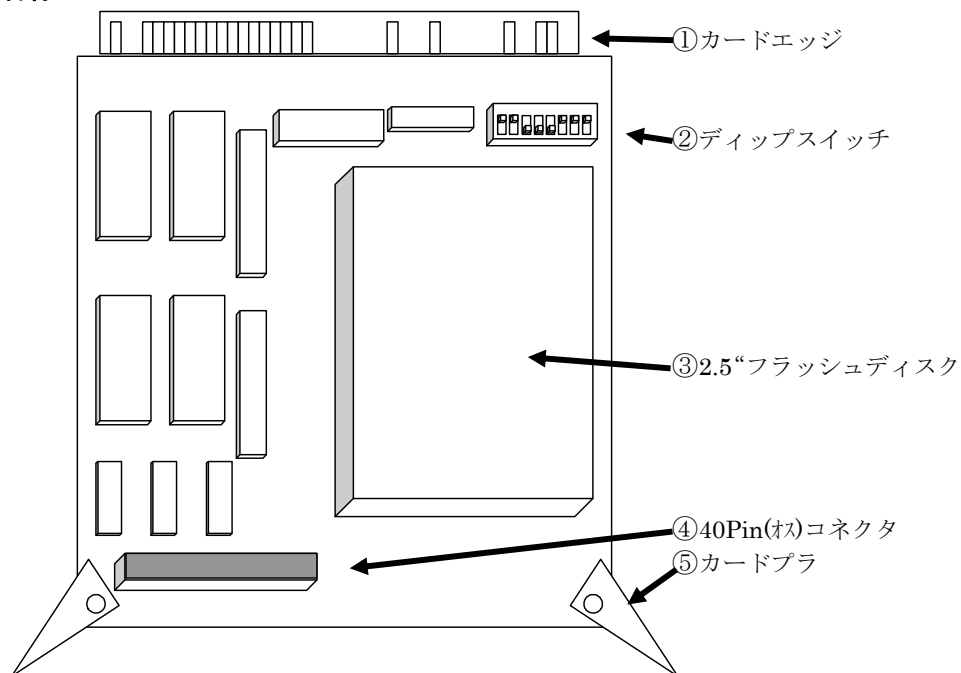
EPSON PCシリーズのCバス拡張スロットを搭載した全機種

1-4 仕様

| | | |
|------------|------------------------|-------|
| 容量 | LISC-128… | 128MB |
| ドライブ形式 | IDE インターフェース フラッシュディスク | |
| 接続インターフェース | Cバス | |

2 各部名称

2-1 各部名称

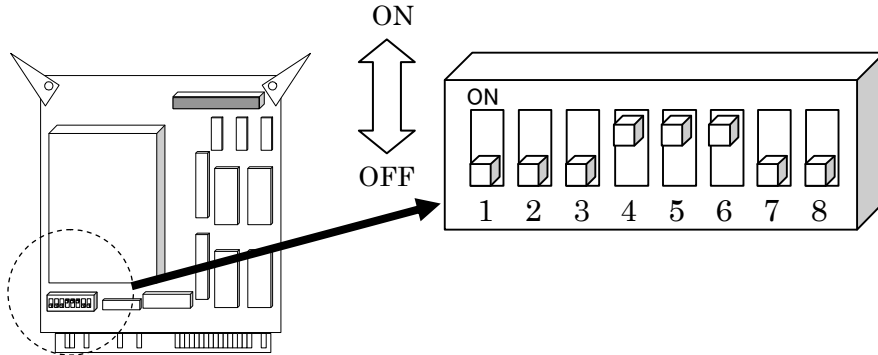


- ① カードエッジ
パソコン本体の拡張スロットのコネクタに接続される部分です。
- ② ディップスイッチ
使用する機器の環境に合わせて本製品の設定をします。
設定方法については「3 ディップスイッチの設定」を参照してください。
- ③ 2.5 “フラッシュディスク
フラッシュディスク本体です。
- ④ 40Pin (オス) コネクタ
IDE 機器とインターフェースボードを、信号ケーブルで接続するためのコネクタです。
- ⑤ カードプラ
コンピュータ本体に取り付けたインターフェースボードを外す場合、この部分を外側に押し広げるようにすると、簡単にボードを取り外せます。

3 ディップスイッチの設定

3-1 ディップスイッチ図

ディップスイッチは LISC 上にある、小さなスイッチです。



※ 上記設定が初期値です。

※ DSW7は未使用です。

3-2 割り込み番号の設定

割り込み番号を設定します。設定はディップスイッチ（DSW）1~4で行います。

「3-3 使用パソコンの機種設定」で設定を②にした場合は、割り込み番号を INT0 に、機種設定を①もしくは③にした場合は、INT3 に設定してください。

| DSW1 | DSW2 | DSW3 | DSW4 | 割り込み番号 | 機種設定値 |
|------|------|------|------|--------|-------|
| ON | OFF | OFF | OFF | INT0 | ② |
| OFF | OFF | OFF | ON | INT3 | ① ③ |

※上記以外の設定では動作しません。

※ は初期値です。

ディップスイッチの設定

3-3 使用パソコンの機種設定

ROM ベースアドレスと、I/O ベースアドレスを設定します。
使用するパソコンの機種により、設定可能な値や推奨する値があります。
ディップスイッチ (DSW) 5・6 を設定します。

| 設定 | DSW5 | DSW6 | ROM アドレス | I/O ベースアドレス |
|----|------|------|----------|-------------|
| ① | OFF | OFF | D0000h | 0D0h |
| ② | ON | OFF | D0000h | 840h |
| ③ | ON | ON | D8000h | 640h |

※ は初期値です。

| 使用するパソコンの機種 | 可能な設定 |
|---|--------|
| PC-9801,E,F,M | ①※ |
| PC-9821,Cf,Cx,Cs2,Ce2 | ②※ |
| PC-9801,UR,US,BA,BX,BA2,BS2,BX2 PC-9821,Ap,As,Ae,Af,Ap2,As2,Bp,Bs,Be,Bf,Ts | ①※、② |
| 上記以外の対応機種 | ①、②、③※ |

※は推奨する設定

注…設定②の場合、SCSI ハードディスクをエミュレートするため、SCSI インターフェースボードとの共用は出来なくなります。

3-4 ROM の設定

DSW8 で ROM の有効・無効を設定します。

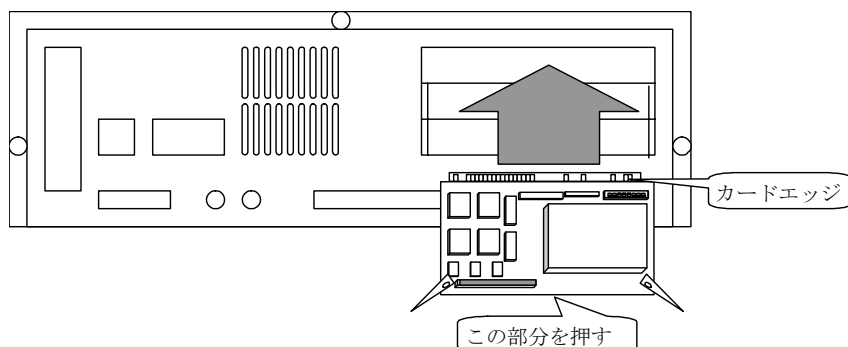
| DSW8 | ROM の設定 |
|------|------------|
| OFF | ROM を有効にする |
| ON | 設定不可※ |

※DSW8 を ON に設定すると、本製品は動作しません。

※ は初期値です。

4 取り付け方法

4-1 インターフェイスボードの取り付け



部品面を上にして、インターフェイスボードをパソコン本体の拡張スロットのガードレールの溝に合わせて、ゆっくりと差し込みます。

※この時にカードエッジにふれないように気を付けてください。

接触不良の原因になることがあります。

インターフェイスボードをパソコン本体内部に、ほぼ隠れるまで挿入して、「ガチャッ」とショックがかかり、カードエッジがコネクタに挿入されます。

最後にインターフェイスボードを軽く引っ張ってみて、インターフェイスボードが抜けないうかを確認してください。

4-2 IDE ハードディスクドライブの接続

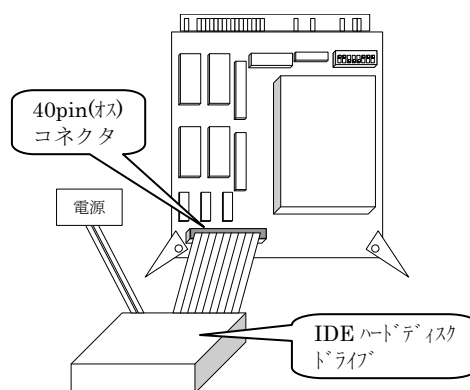
インターフェイスボードに、別途 IDE ハードディスクドライブを接続することができます。

インターフェイスボードの 40Pin (オス) コネクタと IDE ハードディスクドライブを接続します。

※接続ケーブルは別途ご用意下さい。

※ハードディスクドライブの電源は別途確保してください。

※増設するハードディスクドライブは、スレーブに設定してください。



取り付け方法

4-3 フォーマットについて

本製品のフラッシュディスクをフォーマットする場合には、次の点を注意してください。

- 本製品はフォーマット済状態で出荷しています。
また、パーティションは“運用 DOS3.3”下記の要領で領域確保が行われています。
(ただし、システムの転送及び、IPL の登録は行われていません)

| タイプ | パーティション |
|----------|---------------------|
| LISC-128 | 32MB×3 個 + 24MB×1 個 |

空き領域の確保、または領域サイズを変更する場合は、使用環境に応じてフォーマットを行ってください。

- ☆ ご使用のOSが、NEC MS-DOS 3.3の場合には、アクティブ領域は64MB以下で使用してください。
- ☆ ご使用のOSが、NEC MS-DOS 3.3A以降の場合には、アクティブ領域は最大容量で使用できます。

5 品製品使用時の注意点

5-1 他のボードとの競合について

- SCSIインターフェースボードとの併用
本製品の割り込み番号は、INT3に固定となっていますので、SCSIインターフェースボードの割り込み番号を、INT3以外に設定してください。
- 内蔵IDE BIOSとの併用
機種設定を②にしてください。ただし、この場合はSCSIインターフェースボードとの併用は出来なくなります。
また、割り込み番号はINT0に固定となっていますので、他の機器と割り込み番号が競合する場合は、他の競合している機器の割り込み番号をINT0以外に設定してください。

5-2 ハイレゾモード使用時について

本製品は、ハイレゾモードでは使用することができません。

5-3 Windows3.1のエンハンスドモードの設定について

Windows3.1のエンハンスドモードの設定で「BIOSを使用しないディスクアクセス」は設定しないでください。

5-4 PC-9801RXシリーズを使用する場合

PC-9801RXシリーズを使用する場合には、パソコンのクロック数を10MHzで使用してください。

5-5 40Pin (オス) コネクタ ピンチャート

| ピン | 信号名 | 機能名 | I/O | ピン | 信号名 | 機能名 | I/O |
|----|--------|-------------------|-----|----|---------|-------------------|-----|
| 1 | RESET- | Bus Reset | I | 2 | GND | Signal Ground | |
| 3 | DB7 | Data Bus Bit7 | I/O | 4 | DB8 | Data Bus Bit8 | I/O |
| 5 | DB6 | Data Bus Bit6 | I/O | 6 | DB9 | Data Bus Bit9 | I/O |
| 7 | DB5 | Data Bus Bit5 | I/O | 8 | DB10 | Data Bus Bit10 | I/O |
| 9 | DB4 | Data Bus Bit4 | I/O | 10 | DB11 | Data Bus Bit11 | I/O |
| 11 | DB3 | Data Bus Bit3 | I/O | 12 | DB12 | Data Bus Bit12 | I/O |
| 13 | DB2 | Data Bus Bit2 | I/O | 14 | DB13 | Data Bus Bit13 | I/O |
| 15 | DB1 | Data Bus Bit1 | I/O | 16 | DB14 | Data Bus Bit14 | I/O |
| 17 | DB0 | Data Bus Bit0 | I/O | 18 | DB15 | Data Bus Bit15 | I/O |
| 19 | GND | Signal Ground | I/O | 20 | KEY | Key Pin | |
| 21 | | OPEN | | 22 | GND | Signal Ground | |
| 23 | IOW- | Host I/O Write | I | 24 | GND | Signal Ground | |
| 25 | IOR- | Host I/O Read | I | 26 | GND | Signal Ground | |
| 27 | IORDY | I/O ch RDY | O | 28 | | Reserved | |
| 29 | | Reserved | O | 30 | GND | Signal Ground | |
| 31 | INTAQ+ | Interrupt Request | O | 32 | IOCS16- | Drive 16Bit I/O | O |
| 33 | ADD1 | Host Address1 | I | 34 | PDIAG- | Passed Diagnostuc | I/O |
| 35 | ADD0 | Hist Address0 | I | 36 | ADD2 | Host Address 2 | I |
| 37 | CSO- | Chip Select0 | I | 38 | CS1- | Chip Select1 | I |
| 39 | DASP- | Active(LED) | O | 40 | GND | +5V Return | |

ランド周辺機器装置

◇ <LISC-128 ユーザーズガイド> ◇

平成 12年 12月 初 版 発行

発行所： **株式会社ランドコンピュータ**

Printed In Japan

サポート部 (050) 3365 - 6749
(0120) 161639 (フリーダイヤル)

オンライン受付：http://www.landcomp.co.jp/support/rep_guide.htm

E-mail：support@landcomp.co.jp

< 本 社 > 〒532-0011 大阪市淀川区西中島 7-4-17 新大阪上野東洋ビル

TEL 050(3365)6750 (OCN) FAX 06(6307)2121

< 熊本テクニカルセンター >

〒861-2202 熊本県上益城郡益城町田原

テクノリサーチパーク内

TEL 050(3365)6747 (OCN) FAX 096(286)9342

サポート体制と修理サービス

ランドコンピュータでは、お客様に当社製品を安心してご使用していただくために、サポート体制の充実を図っております。
製品の接続や操作方法についてのご質問や、万一、製品が正常に作動しない場合は、下記のサポート部までお問い合わせ下さい。

サポート部へのお問い合わせは

1. オンライン受付：

http://www.landcomp.co.jp/support/rep_guide.htm

2. E - M a i l：

support@landcomp.co.jp

3. F A X：

096-286-9342

受付時間：24時間

4. I P 電話：

050-3365-6749 (OCNのみ無料)

受付時間： 9：00～12：00
13：00～17：30 (土曜日・日曜・祝日を除く)

5. フリーダイヤル：

0120-161639 (PHS、携帯からもかかります)

受付時間： 9：00～12：00
13：00～17：30 (土曜日・日曜・祝日を除く)

◎当社に修理サービスをご依頼の際のお願い

まず、上記サポート部にご連絡下さい。担当者より、修理受付番号と修理品返送先を記載した「修理受付連絡書」をFAXでお知らせいたします。

ご返送いただく製品の外箱に「修理受付番号」及び「修理品」と明記の上、保証書を添付して修理品返送先にご返送下さい。

修理受付番号のないものは処理しかねる場合もございますので、ご了承下さい。

株式会社 **ランド コンピュータ**